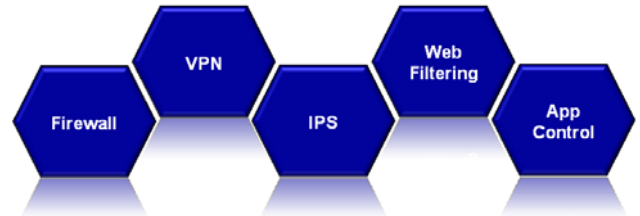


虚説か現実か:

次世代ファイアウォール (NGFW) を包含する Fortinet® 統合脅威管理

マーケットの潮流

ネットワークセキュリティの分野では数年前から、ファイアウォール、IPS、Webコンテンツフィルタリング、アプリケーション制御など、複数のテクノロジーを1台の装置に統合するセキュリティシステムが主流となっています。IDCは同社の提供する情報の中でこの方式を"統合脅威管理(UTM)"と表現し、一方 Gartner は"次世代ファイアウォール(NGFW)"と表現しています。実のところ、両社が使用するこれら2通りの表現は、同一のセキュリティ市場とテクノロジーの潮流を示していますが、異なる表現がセキュリティ市場の少なからぬ混乱の原因にもなっています。

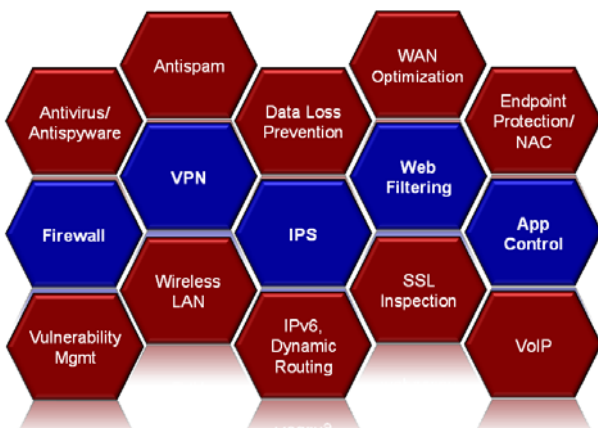


Gartner の次世代ファイアウォールの定義に含まれるコアテクノロジー

IDC は UTM を、「従来のファイアウォールが大幅に進化し、あらゆるセキュリティ製品を包含した結果、1台のアプリケーションで多数のセキュリティ機能への対応を実現したセキュリティシステム」と定義しています。その機能として、ネットワークファイアウォール、ネットワーク不正侵入防御、ゲートウェイアンチウイルス (AV)、ゲートウェイアンチスパム、VPN、コンテンツフィルタリング、ロード バランシング、およびアプリケーション関連レポートなどがあります。

一方 Gartner は、NGFW の機能各種を、標準的なファイアウォール機能 (ネットワークアドレス変換、ステートフルインスペクション、VPN、および大規模企業向けのセキュリティ機能) に加えて、以下の機能を含むものと定義しています。(2010年10月にGartnerは、Magic QuadrantでUTMも提唱されました)

- IPSがファイアウォールに「本格的に統合」されている。
- "アプリケーションアウェアネス"機能によりアプリケーションを認識し、制御機能を設定。
- 「付加的なファイアウォール」機能から取り込まれる情報が、意思決定を支援。これらの機能には、評価分析、Active Directory との統合、あるいは有用なブロックリストまたは脆弱性リストなどがある。



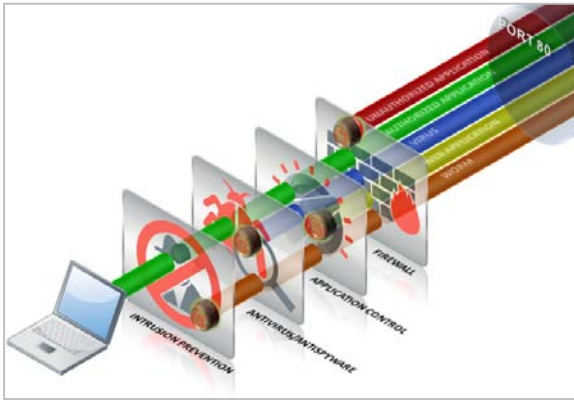
FortiGate プラットフォームは、NGFW より幅広いセキュリティテクノロジーを統合し、パフォーマンスおよびセキュリティを強化しつつコストを削減

完全なコンテンツプロテクション

フォーティネットの FortiGate® プラットフォームは、これらの機能すべてを装備しながら、さらに完全なコンテンツプロテクションを実現します。完全なコンテンツプロテクションは、単にアプリケーションを特定してトラフィックのアクセスを許可または拒否するだけに留まらず、あらゆるコンテンツの ID ベース ポリシー適用と連動するアプリケーション制御をも実現します。完全なコンテンツプロテクションでは、FortiGate プラットフォームに含まれるすべてのセキュリティおよびネットワークテクノロジーを利用でき、これにより独自のポリシーの適用が可能となります。アプリケーション (信頼できるソースによる信頼できるアプリケーションを含む) およびデータに潜む悪意のあるコンテンツから、ネットワークを保護し続けます。

FortiGate のアプリケーション制御機能は、Facebook、Twitter、MySpace などの Web 2.0 アプリケーションに対する

高度な制御機能と可視性を備えています。また、あらゆるポート上のアプリケーション、他のアプリケーションに含まれるアプリケーショントンネリング、さらに HTTPS (ポート 443) の暗号化された Web トラフィックでさえも特定できます。FortiGate のアプリケーション制御により、アプリケーションの中でユーザが実行可能な活動に対する制御も可能となり、たとえばテキストを許可しファイル転送をブロックする、あるいは外部 Web サイトへのリンクを不通にするなどの制御が可能です。



フォーティネットの完全なコンテンツ プロテクションが制御するアプリケーションには、信頼されるソースによる信頼されるアプリケーションも包含

このようにアプリケーションの可視性が確保されるので、どのような環境でもアプリケーションを管理でき、またネットワークトラフィックを制御しアプリケーションが消費可能な帯域幅の量を制限できます。FortiGuard Labs の 1,500 を超えるアプリケーション シグネチャはアプリケーション管理を簡素化し、FortiGate にはカスタムのアプリケーション シグネチャをインポートする機能も含まれています。

高性能な FortiASIC アーキテクチャは、他のファイアウォールでは盲点になりがちな SSL 暗号化されたトラフィックのインスペクションも行い、より万全なセキュリティを実現します。また、フォーティネット サーバ認証拡張 (Server Authentication Extension、FSAE) により、FortiGate ユニット上の Microsoft Windows Active Directory ユーザをシームレスに認証できます。FSAE は、ID ベースのアプリケーション制御として機能し、ユーザのネットワーク活動に対する従来以上にきめ細かい可視性および制御が可能になります。

NGFW に対するフォーティネットの優位性

フォーティネットの UTM および他のベンダ各社が提供する NGFW には共通点もありますが、重要な違いも数多くあります。

- **市場のリーダーシップ** – フォーティネットは、ネットワーク セキュリティ分野のリーダー企業であり、目的に特化したソリューションを提供することでセキュリティのパフォーマンス、保護機能を強化し、コストを削減します。また、Fortune Global 500 の主要企業を含む、100,000 社を超える世界中の顧客企業のネットワーク セキュリティに貢献しています。



FortiGate の完全なコンテンツ プロテクションは、これらの一般的な Web 2.0 アプリケーションも制御可能

- **認証済みの保護機能** – フォーティネットは、コアとなるセキュリティ テクノロジー全般に対して独立の第三者認証機関の認証を取得している、唯一のネットワーク セキュリティ ベンダです。
- **最先端のパフォーマンス** – 特定用途向けハードウェアおよびソフトウェアにより、最も要件の厳しいネットワーク環境に、業界をリードするセキュリティ パフォーマンスを提供します。フォーティネットは、FortiASIC カスタム プロセッサ、最新世代の CPU、および FortiOS オペレーティング システムを組み合わせ、きわめて高速なスループットと超低レイテンシを実現するための統合型アーキテクチャを開発しました。
- **脅威に対するグローバルなリサーチおよびサポート** – FortiGuard® Labs のグローバルな脅威リサーチ チームは、形を変えながらネットワークを攻撃する脅威の状況を監視し続けています。リサーチ チームは、125 名を超える FortiGuard Labs のリサーチ スタッフから構成され、24 時間、世界規模で監視活動を続け、新たに出現する脅威からお客様のネットワークを確実に保護します。

NGFW ソリューションに対するフォーティネット ソリューションの優位性の詳細については、http://www.fortinet.com/aboutus/fortinet_advantages.html をご覧ください。

新世代のネットワークセキュリティ

最高水準のパフォーマンスおよび幅広いネットワーク プロテクション機能を備えた FortiGate アプライアンスは、万全なネットワーク セキュリティを実現する最先端のファイアウォール テクノロジーです。新世代のネットワーク セキュリティの詳細については、www.fortinet.co.jp をご覧ください。



フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木 7 丁目 18-18
住友不動産六本木通ビル 8 階
TEL: 03-6434-8533 FAX: 03-6434-8532
導入前のお問い合わせはこちらから
<http://www.fortinet.co.jp/contact/>

Copyright © 2010 Fortinet, Inc. All rights reserved. Fortinet®, FortiGate®, および FortiGuard® は Fortinet, Inc. の登録商標、その他本書に記載されているフォーティネット製品はフォーティネットの商標です。その他の製品または社名は各社の商標である場合があります。本書に記載の性能測定は理想的な状況下、社内ラボで実施されました。ネットワークの可変性、さまざまなネットワーク環境、その他の条件が性能結果に影響を与える可能性があります。また、特定の製品が本書記載の性能測定と一致して動作することを明確に保証する拘束力のある契約をフォーティネットが購入者と締結している場合を除き、フォーティネットは明示的または暗示的ないかなる保証も与えるものではありません。完全に明確な点として、そうしたいかなる保証も、フォーティネットの社内ラボテストと同一の理想的な状態において測定された性能に限定されます。フォーティネットはいかなる保証も放棄します。フォーティネットは予告なくこの発行物を変更、修正、譲渡、改訂する権利を保有し、この発行物の最新版にも適用されるものとします。特定のフォーティネット製品は米国特許 No. 5,623,600 に基づきライセンス許諾されています。